

令和 6 年度「看護教員養成プログラム」の自己点検・評価について

【自己点検・評価の概要】

看護教員養成プログラムについては、毎年本プログラムの修了時に、A、B について学生へアンケートを実施し修了者の状況に係る効果検証を行い、次年度の開催に向けての課題を明確にしたうえで改善して運営をしている。学生には、アンケートの結果を今回の報告や業務改善、研究等に使用すること、及び任意の参加であること、学生の不利益にならないこと等を説明しアンケートを実施した。

A.看護教員養成プログラム修了時における到達目標の達成度について

本プログラムは、厚生労働省より例年「看護教員に関する講習会(専任教員)」として認定を受けているため、「専任教員養成講習会及び教務主任養成講習会ガイドライン」に示される43項目の「教員の教育実践力と講習会終了時の到達目標」についてアンケートによる評価を行っている。

B.看護教員養成プログラム 通信教育課程 満足度について

通信教育課程における履修状況や学修満足度等についてアンケートを実施し、評価を行っている。

【アンケートの実施】

実施者:佐藤弘子 人間科学部心身健康科学科

アンケート対象者:令和 6 年度 看護教員養成コース 看護教員養成プログラム受講者 39 名

アンケート実施日:令和 7 年 2 月 1 日(土)

アンケート回収日:令和 7 年 2 月 2 日(日)

アンケート回答人数:39 名(回収率 100%)

有効回答者数:39 名(有効回答率 100%)

【アンケートの結果】

別添資料参照

【評価】

A.看護教員養成プログラム修了時における到達目標の達成度について

本学での看護教員養成プログラムは平成 24 年度より開始し、平成 31 年度(令和元年度)に全ての到達目標において「(達成したと)大変そう思う」及び「(達成したと)ややそう思う」と回答した者が 5 割を超えた。

それ以降においても全ての到達目標で「(達成したと)大変そう思う」及び「(達成したと)ややそう思う」と回答した者が 5 割を超えている。

これまでの教授内容の強化・改善への取り組みについて、一定の効果を上げ、教授内容の質を維持することができていると言える。

引き続き更なる教授内容の充実を図るべく取り組んでいきたいと考える。

B.看護教員養成プログラム 通信教育課程 満足度について

①e-learning 全体について(問 1～5)

e-learning 全体については、「①大変そう思う」、「②ややそう思う」と回答した者が 5 割を下回る項目(以下「課題項目」)はなかった。

特に問 1 については、9 割を超える者が「①大変そう思う」、「②ややそう思う」と回答し、満足度が維持されていることが示された。

②専門分野について(問 6～10)

今回の結果でも、「①大変そう思う」、「②ややそう思う」と回答した者がいずれも昨年度と同様に 7 割を超え、通信教育課程における専門分野の学修環境についての満足度を維持している。

③基礎分野について(問 11～15)

いずれも「①大変そう思う」、「②ややそう思う」と回答した者が 7 割を超えているが、テキスト課題やレポートの提出のしやすさについては、更なる向上に向けた対応を検討したい。

④事務対応について(問 16)

回答者の 9 割弱(87%)の者が「①大変そう思う」、「②ややそう思う」と回答している。引き続き学生が満足できるような対応を心掛けたい。

⑤UHAS@My キャンパスの使用について(問 17～19)

回答者の 8 割弱(76%)の者が「①ほぼ毎日」、「②4～5 日/週」、「③2～3 日/週」と回答し、看護教員養成プログラムの学修期間中、継続的に UHAS@My キャンパスを利用し学修している。

⑥学修時間について(問 20～21)

回答者の 8 割弱(79%)の者が多いときは 120 分以上と回答し長時間にわたる学修をしていることが分かった。

⑦オンライン図書館の利用について(問 22～24)

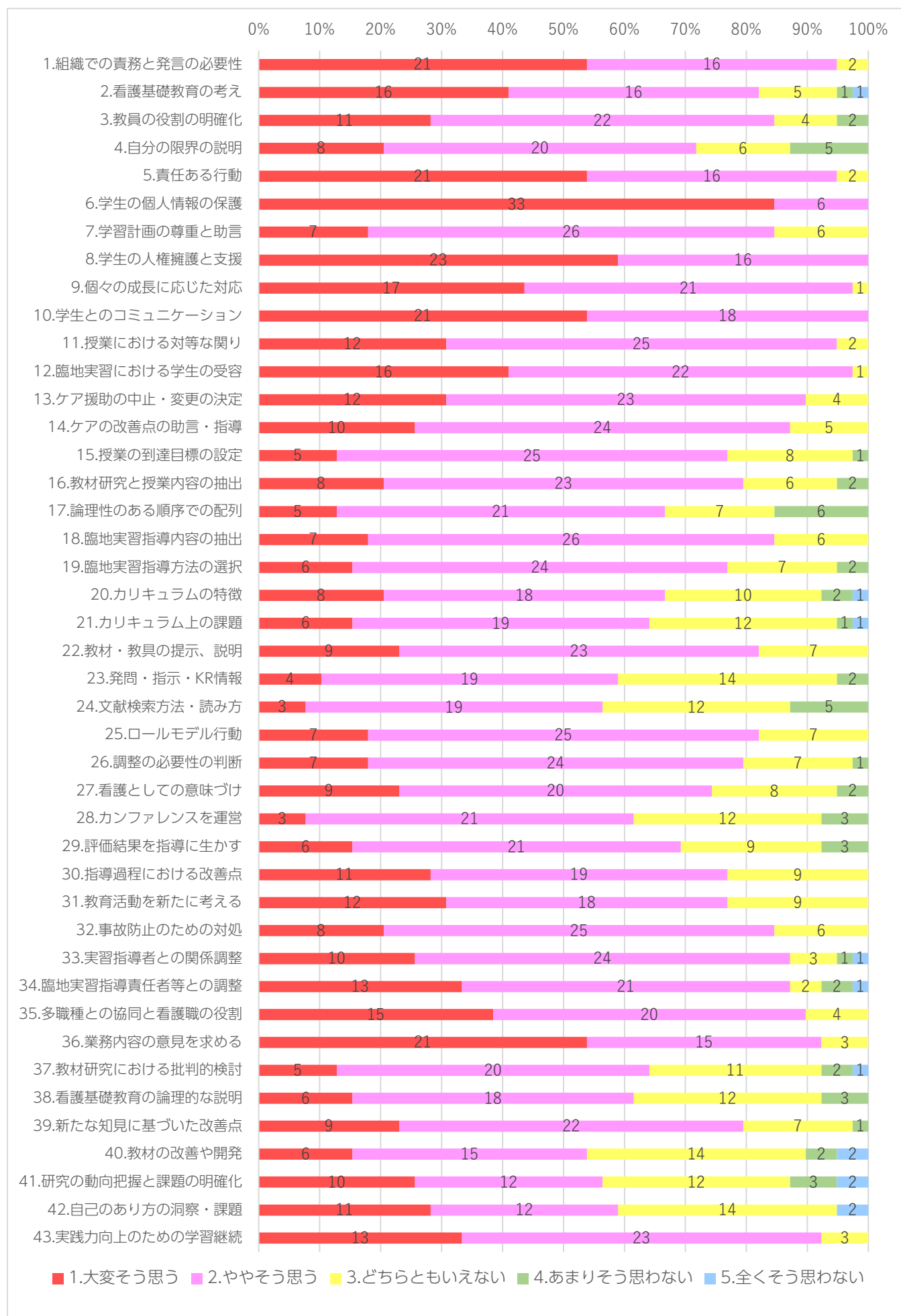
オンライン図書館のコンテンツについては「①大変満足している」、「②やや満足している」と回答した者は、平成 30 年度は 27%であり、平成 31 年度においては 22%と若干の減少がみられたが、令和 2 年度では 39%、令和 3 年度においては 47%、令和 4 年度においては 46%、令和 5 年度は 58%、令和 6 年度は 64%と満足度は改善傾向にある。

令和 4 年度より契約本数が限られているコンテンツをアクセス数フリーの契約に変更したことにより、オンライン図書館での文献検索について「①大変便利である」「②やや便利である」と回答した者は、令和 4 年度で 59%、令和 5 年度で 71%、令和 6 年度で 77%までに上昇した。

引き続きコンテンツの充実と利用の促進について努め、満足度が向上するようにしたい。

A.「看護教員養成プログラム修了時における到達目標の達成度について」アンケート結果

n=39



B.「看護教員養成プログラム 通信教育課程について」アンケート結果

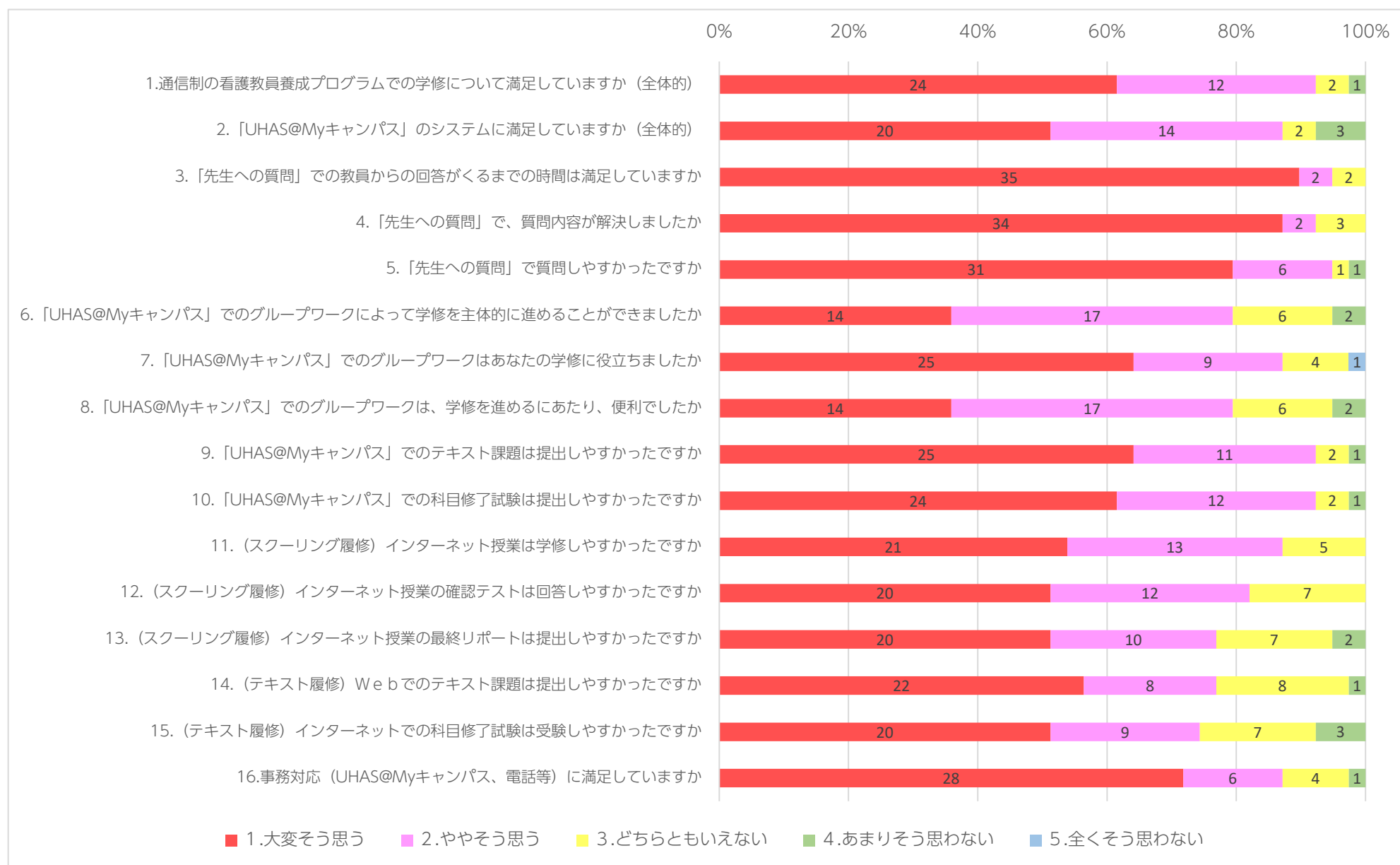
n=39

【問1～5】e-learning 全体

【問6～10】専門分野

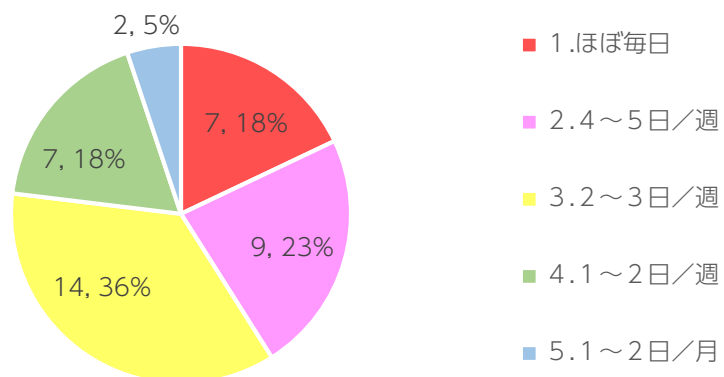
【問11～15】基礎分野・教育分野

【問16】事務対応

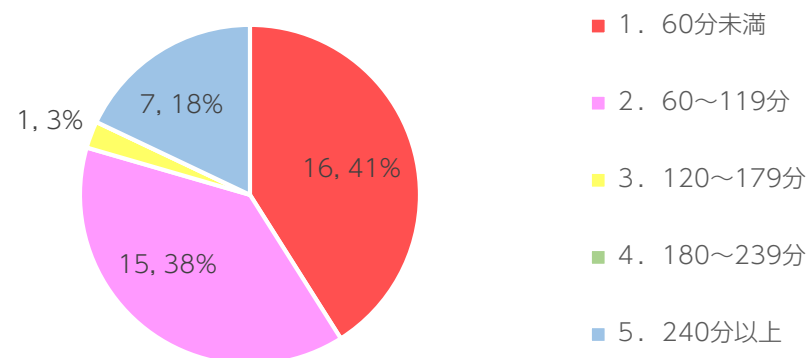


【問17～19】UHAS@My キャンパスの使用について

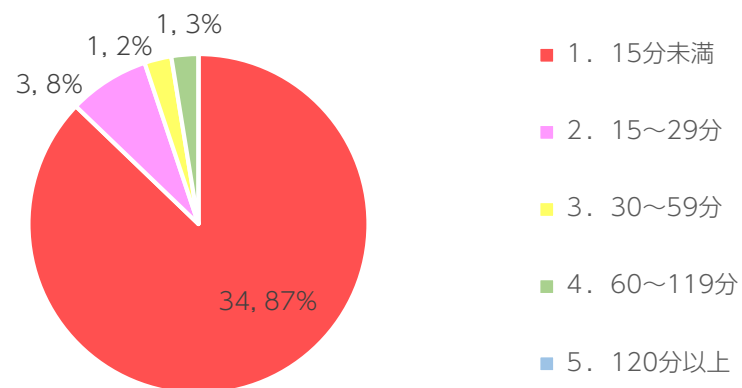
17. どのくらいの割合で「UHAS@Myキャンパス」に
アクセスしましたか



18. 「UHAS@Myキャンパス」のアクセスは、
1回あたりの時間は多い時でどのくらいでしたか

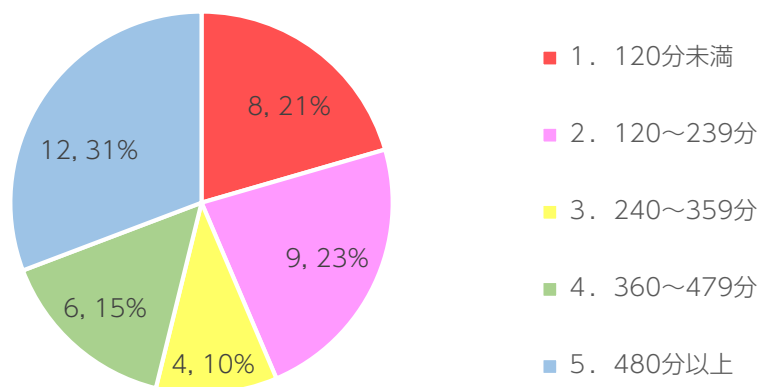


19. 「UHAS@Myキャンパス」のアクセスは、
1回あたりの時間は少ない時でどのくらいでしたか

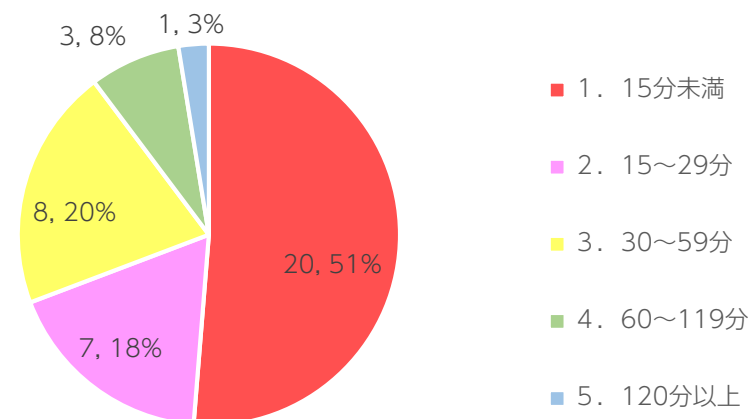


【問20～21】学修時間について

20. 一日の学修時間は、多い時でどのくらいでしたか

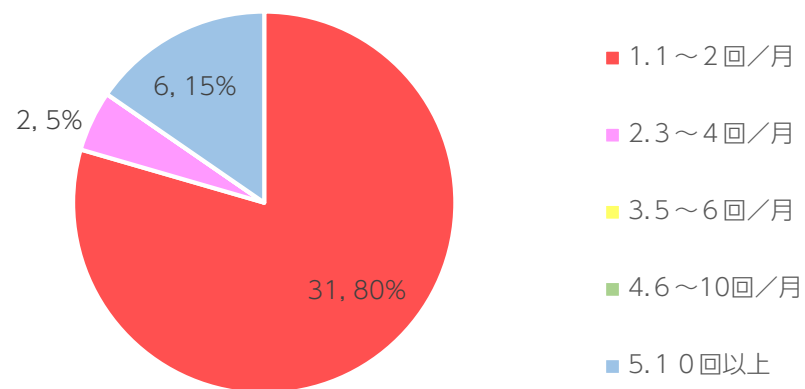


21. 一日の学修時間は、少ない時でどのくらいでしたか

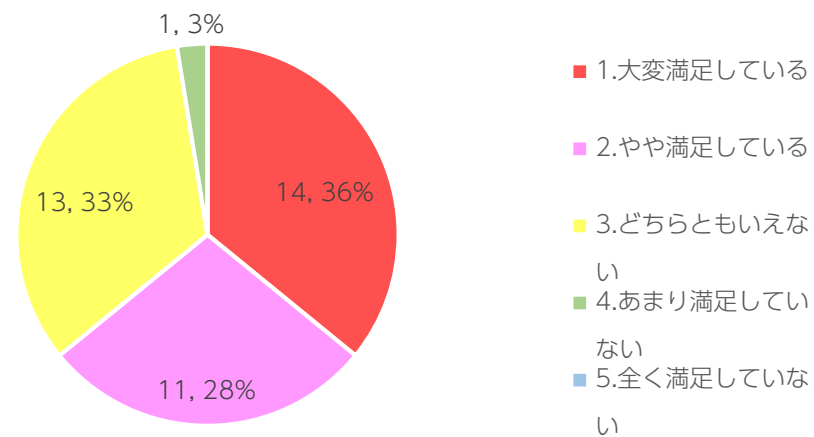


【問22～24】オンライン図書館の利用について

22. オンライン図書館はどのくらい利用されましたか



23. オンライン図書館のコンテンツには満足していますか



24. オンライン図書館での文献検索は便利でしたか

